

令和3年度厚生労働科学研究費補助金(女性の健康の包括的支援政策研究事業)

分担研究報告書

ユネスコ国際セクシュアリティガイダンスに基づく包括的性教育プログラムの作成

研究分担者 西岡 笑子 防衛医科大学校 医学教育部 看護学科 母性看護学講座 教授
高橋 幸子 埼玉医科大学 医療人育成支援センター・地域医学推進センター 助教

研究要旨

国際連合教育科学文化機関（UNESCO）が定める「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」（以下「ガイダンス」）は、若者のリプロダクティブヘルスの増進を目的として、教育および保健当局や関連機関が包括的性教育のためのプログラムや教材を開発し、実践することを支援するための手引書である。このガイダンスは、世界各国のセクシュアリティ教育に関わる専門家の研究と実践を踏まえ作成され、性教育の世界のスタンダードともいわれている。本研究の目的は、ガイダンスに基づいた教材作成にあたり、多くの意見を反映したものとするための情報収集である。ガイダンスは先進国から発展途上国まで幅広くカバーするために、日本の現状にそぐわない部分も多々あるため、日本の性教育にガイダンスを反映する際には慎重な検討が必要であり、多くの意見を反映したものとする必要がある。

本研究では、ガイダンスに基づいた包括的性教育 レベル 2（9-12 歳）、レベル 3（12-15 歳）、レベル 4（15-18 歳）の教材案および指導案作成を行うと同時に、子どもの性教育に携わっている養護教諭、学校教員、医療職（小児科医、産婦人科医、泌尿器科医）および保護者に個別インタビュー調査を行い、性教育の現状を明らかにすること、ガイダンスに基づいた包括的性教育を日本の社会的背景、文化等を考慮した教材および指導案開発を行うことを目的とした。

手順に則り、教材案および指導案を作成した。今後は、専門家の助言に基づき、作成中の教材および指導案を適宜修正していく予定である。インタビュー協力者は、小学校教諭、中学校養護教諭、高等学校保健体育教諭、小児科医、泌尿器科医（各 1 名）、保護者 2 名の合計 7 名であった。性教育の現状について聞き取り調査を行い、作成中の教材案についての意見を求めた。今後更にインタビュー内容を分析し、教材案を修正予定である。

研究協力者

白須 真鶴枝 埼玉医科大学 研究補佐
今野 淳一 桐朋女子中学・高等学校 校長
吉川 陽大 桐朋女子中学・高等学校 保健体育科教諭 他 11 名
高田 奈々 小笠原町立小笠原中学校 主任教諭
野田 さくら 小笠原町立小笠原中学校 養護教諭
岡本 麻依 京都府立朱雀高校定時制養護教諭
清水 美春 立命館大学大学院先端総合学術研究科一貫制博士課程 元滋賀県立高等学校保健体育科教諭
匿名 東京都内小学校教諭 1 名

A. 研究目的

国際連合教育科学文化機関（UNESCO）が定める「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」¹⁾（以下「ガイダンス」）は、性と生殖に関する健康（SRH）を含む、子ども、若者の健康とウェルビーイング（幸福）を目的として、教育および保健当局や関連機関が包括的性教育のためのプログラムや教材を開発し、実践するこ

とを支援するための手引書である。このガイダンスは、世界各国のセクシュアリティ教育に関わる専門家の研究と実践を踏まえ作成された。2009 年に初版が出版され、2018 年に改訂版が出版された。欧米諸国だけでなく、韓国、台湾、中国においてもガイダンスが参照されており、まさに性教育の世界のスタンダードともいえるだろう。「ガイダンス」の中心となる考え方の主題として、1.人間関係、2.価値・権利・文化・セクシュアリティ、3.ジェンダーの理解、4.暴力と安全の確保、5.健康と幸福のためのスキル、6.人間のからだと発達、7.セクシュアリティと性的健康、8.性と生殖に関する健康がある。2018 年の改訂版では、持続可能な開発目標、（以下、SDGs）が改訂版の前提となっており、3.ジェンダーの理解、4.暴力と安全の確保の主題が追加された。SDGs が示す新たな開発の枠組みの中にある 17 のゴールの中で、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツは特に、目標 3（健康）および目標 5（ジェンダー平等）に関連しているが、それぞれのゴールは

2030年の世界像において関連し合っている。人間の生殖システムや性生活などは目標1（貧困）、2（栄養）、4（教育）などによって目指されている世界の一部であり、性・セクシュアリティだけが特別に存在することはできない。

「ガイダンス」では、対象を4つの年齢区分（レベル1：5～8歳、レベル2：9～12歳、レベル3：12～15歳、レベル4：15～18歳）に分け、学習内容と学習目標をそれぞれに設定し、発達段階に合わせて段階的に継続した教育を行っている。

その学習内容としては、性行動そのものだけではなく、人間関係（家族、友情、結婚など）や、価値観、文化、人権など、非常に多岐に渡り、その中身においても多様性が前提とされている。例えば、家族の項目では、レベル1では「家族にはさまざまな種類の家族が存在する」という内容から始まっている。

日本における女性の健康知識も含めた包括的性教育について、文部科学省による学習指導要領²⁾との比較を行った。その結果、国際基準より大きく遅れていることが明らかとなった³⁾。例えば、妊娠に関して、ガイダンスでは5-8歳（レベル1）の段階で、受精など子どもが生まれる過程を知り、意図しない妊娠、避妊方法については9-12歳（レベル2）で取り上げられていた。しかし、学習指導要領では双方ともに高校で扱う内容と規定されていた。また、学習指導要領ではがんについての教育は記載されているものの、女性特有の乳がんや子宮頸がんについては焦点が当てられていなかった。ヒトパピローマウイルス感染、ワクチンに関しては、ガイダンスにおいて9-12歳（レベル2）で教育すべきとの記載がある一方で、学習指導要領には記載がなかった。

月経に関する教育も世界と大きな開きがあった。ガイダンスでは月経中に女性が快適に過ごすためのサポートが記載されていたが、学習指導要領では月経について小学校で紹介された後は月経の過ごし方に関する記述はなかった。さらに、婦人科等へのアクセスについて、ガイダンスでは詳細に記載されている一方、学習指導要領では中学校、高校のタイミングにおいて一般的な医療機関の利用に関する記述にとどまっており、婦人科等の利用についての特徴的な記載はなかった。

これらの結果から、今後日本において国際セクシュアリティ教育ガイダンスに基づいた包括的性教育を導入していくことが大切である。本研究の目的は、

本研究の目的は、ガイダンスに基づいた教材

作成にあたり、多くの意見を反映したのものとするための情報収集である。ガイダンスは先進国から発展途上国まで幅広くカバーするために、日本の現状にそぐわない部分も多々あるため、日本の性教育にガイダンスを反映するには慎重な検討が必要であり、多くの意見を反映したものとする必要がある。

子どもの性教育に携わっている養護教諭、教員（クラス担任）、医療職（小児科医、産婦人科医、泌尿器科医）および保護者に個別インタビュー調査を行い、性教育の現状を明らかにすること、今後ガイダンスに基づいた包括的性教育を日本の社会的背景、文化等を考慮した教材および指導案開発を行うことが目的である。

今回のインタビュー結果に基づき、作成中のガイダンスに基づいた性教育教材を作成する際の根拠とする。

B. 研究方法

1. ガイダンスに基づいた包括的性教育 レベル2（9-12歳）、レベル3（12-15歳）、レベル4（15-18歳）の教材および指導案作成

- 1) ガイダンスと文部科学省学習指導要領の対比表を作成する。
- 2) ガイダンスに基づき、産婦人科医、助産師により、教材構成案を作成する。
- 3) 教材構成案を元に教材レイアウト、文章表現の校正およびイラストを業者に委託する。
- 4) 現職教諭にガイダンスに基づいた包括的性教育の指導案（レベル2.3.4）およびワークシートの作成を依頼する。
- 5) 2で行う子どもの性教育に携わっている養護教諭、教員、医療職および保護者への個別インタビュー調査により教材案を修正する。
- 6) 教育学の視点かつ国際セクシュアリティ教育ガイダンス翻訳者（埼玉大学 教育学部 田代美江子 教授、埼玉大学 教育学部 渡邊大輔准教授）による助言を受け、教材案を修正する。
- 7) ガイダンス、文部科学省学習指導要領および作成した教材の対比表を作成する。

2. 子どもの性教育に携わっている養護教諭、教員、医療職および保護者への個別インタビュー調査

- 1) 機縁法（性教育のつながりがある他職種の方たちに、メールにて今回の調査につきあらかじめ文書で説明する。関心がある方に手上げ式でエントリーを募り、希望者に参加いただく）により養護教諭、教員、医療職、保護者の研究対象者を選定する。

機縁法とは、研究対象者を募る方法で、人を介してインタビュー等への協力者を探す方法である。友人・知人・同僚などのつながりを通じて条件にマッチする人を見つける方法であり、対象者となりうる人が少ない研究では多く用いられる。

2) 本人に、研究責任者、研究補助者、分担研究者のいずれかより説明文書に基づき十分に説明を行った上で、本研究への参加について、文書にて同意を得る。職場への申請書が必要な場合には職場上司宛の依頼書・説明書を添付し、勤務先で提出していただく。

3) インタビューガイドに基づく半構造化面接法によって行う。面接は1人につき1回とし、1回の面接時間は60分程度とする。面接は、ZOOMによるオンラインで実施し、対象者の承諾を得て音声録音する。

<インタビューガイド>

1. 養護教諭：年代、性別、養護教諭経験年数、現任校における性教育実施の回数、時間、内容、外部講師を招聘しているもの、性教育に関しての考え、性教育に関してのニーズ、国際セクシュアリティ教育ガイダンスにもとづいた包括的性教育を根づかせるための考え、その他、意見

2. 教員：年代、性別、教員経験年数、現任校における性教育実施の回数、時間、内容、外部講師を招聘しているもの、性教育に関しての考え、性教育に関してのニーズ、国際セクシュアリティ教育ガイダンスにもとづいた包括的性教育を根づかせるための考え、その他、意見

3. 医療職：年代、性別、医師としての経験年数、専門科、性教育経験年数、性教育実施内容、外部講師として招聘された際の学校側との事前打ち合わせ内容、性教育に関してのニーズ、国際セクシュアリティ教育ガイダンスにもとづいた包括的性教育を根づかせるための考え、その他、意見

4. 保護者

年代、性別、職業、子どもの人数、年齢、学校における性教育の考え、学校における性教育のニーズ、国際セクシュアリティ教育ガイダンスにもとづいた包括的性教育を根づかせるための考え、その他、意見

4) 音声データを文字起こし専門会社である東京反訳株式会社に、インタビューを録音した音声データを委託先指定のWEB上のマイページにて電子的に送り、逐語録の作成を行う。

5) 逐語録を分析データとして内容分析を行う。

本研究は、埼玉医科大学倫理審査委員会療看

護学部研究等倫理審査委員会の承認を得て実施した(申請番号:大2021-023)。調査期間は令和3年1月～令和3年3月31日とした。

C. 研究結果およびD. 考察

1. ガイダンスに基づいた包括的性教育 レベル2 (9-12歳)、レベル3 (12-15歳)、レベル4 (15-18歳)の教材および指導案作成

方法1)～7)の手順に則り、教材案および指導案を作成した。今後は、専門家の助言に基づき、作成中の教材および指導案を適宜修正していく予定である。

2. 子どもの性教育に携わっている養護教諭、教員、医療職および保護者への個別インタビュー調査

方法1)～3)の手順に則り、インタビューを実施した。

インタビュー協力者は、小学校教諭(30代男性)、中学校養護教諭(30代女性)、高等学校保健体育教諭(40代男性)、小児科医(50代男性)、泌尿器科医(50代男性)それぞれ各1名、保護者2名(50代女性、40代女性)の合計7名であった。インタビュー時間の平均は63分(56～75分)であった。

インタビューの結果、学校で性教育を教えることへのニーズ・考えに関しては、教諭3名ともに、児童・生徒の現状から考えると、既に性に関わる情報を持っていて、興味を持っている人も多いので、学校でも性教育を教えることに非常に前向きであった。特に担任を持っている小学校教諭・高等学校保健体育科教諭からは、インターネットの影響で性に関わる単語や情報を知っている児童・生徒が、ここ数年で増えている印象を持っているが、表層的な理解であって、情報に溺れている状態という指摘を受けた。人権や尊厳を理解したうえでの意思決定につながるような学びの機会が必要との見解であった。

また保護者・教諭から意見が多かったのは、「普段接している子どもと、性に関して話づらい、どう注意していいかわからない」という主旨の意見である。同時に性教育の学校外部講師や性教育講座を開催している医師2名からも、保護者や学校の先生からは性教育について話づらいという要望があり、現状は外部講師が呼ばれているという旨の回答があった。中学校養護教諭からは、「外部講師の講演の後は、養護教諭に具体的な質問が来ることが多く、信頼できる情報を持っている大人に、質問できる場を生徒が求めていると感じる」という回答を

得た。

包括的性教育を推進するにあたり、学習指導要領の「はじめ規定」に関しては、インターネットが発達した現代において、生徒・子どもに発達段階に応じて伝えるべきことを伝える機会を持ちづらい原因になっているのではないかと、という意見が全員から得られた。

特に小学校や中学校段階で、性交によって妊娠が生じることを教えることについて、全員、前向きであったが、同時に教える際の配慮の必要性も指摘された。

小学校教諭から、「小学校3～4年生でも「セックス」という単語を知っている児童もいると認識している。性交を教えることは良いと思うが、現状は学校教諭が誰でも包括的性教育ができるわけではない。外部講師ではなく学校の中で行うのであれば、教諭への研修が必要。」との意見があった。

保護者1名から、「小学校で性交を教えることの意義は理解しているが、丁寧に学校の先生が説明をしてくれることが必要ではないか。保守的な保護者もいることや、子どもがショックを受けないようなイラストなどを用いるなど、配慮が必要だ」という意見があった。

教材案(別添資料)についても、意見を伺った。制作意図の説明など行ったうえで、分かりやすい表現など指摘された箇所には、修正を行ったうえで、次年度の実証授業の教材とする予定である。教材案に関して、教諭3名は、どの教科でこの教材を用いるかの質問や意見が多く上がった。包括的性教育に沿った教材案を提示した際、保健体育、理科や生物、家庭、社会や公民、総合や探求など、教科横断で取り組むことが理想的と感じるが、実際に行うとなると難しいかもしれないことも指摘された。特に中学校・高等学校においては教科専門性で成り立っている難しさがあり、もし学校全体として科目横断的に取り組みたいのであれば、養護教諭という教科から独立した立場から学校全体に働きかけてもらうことが望ましいとの意見だった。養護教諭からは、科目横断で包括的性教育を推進するキーパーソンになっていることは認識しているが、現状はできていないので、今回制作している教材と指導案のようなものがあれば、教科の先生にも紹介しやすいとの回答を得た。

最後に、高等学校保健体育科教諭からは、現任校が国際バカロレア認定校であり「本校においての性教育は、保健教科の全体授業の中での最重要単元と位置づけている。人権を意識した中で、知識だけではなく思考、態度を育みたい」との意見があった。

今後更にインタビュー内容を分析し、教材案を修正予定である。

E. 結論

令和3年度は、ガイダンスレベル2.3.4の教材案および指導案を作成し、小学校教諭、中学校養護教諭、高等学校保健体育教諭、小児科医、泌尿器科医、保護者からの意見を求めた。今後、更にインタビュー内容を分析し、教材案を修正予定である。

F. 健康危険情報なし

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) 西岡笑子, 三上由美子, 飯島佐知子, 横山和仁. 大学における女性の健康支援状況(査読あり). 防衛医科大学校雑誌 47(1), 78-89, 2022.
- 2) 西岡笑子. 妊娠・出産におけるヘルスリテラシー保健の科学 64(4), 253-258, 2022.
- 3) 西岡笑子. 特集I 第39回日本思春期学会総会・学術集会. ワークショップ(2)「プレコンセプションケア」 3. 国際基準の科学的健康教育 —国際セクシュアリティ教育ガイダンスを日本で普及していくために— 思春期学 39(1), 60-65, 2021.
- 4) 鈴木佳子, 西岡笑子. 青年期女性によるライフコース選択の影響要因; 文献検討. (査読あり) 防衛医科大学校雑誌. 46(3), 123-128, 2021.

2. 学会発表

- 1) 西岡笑子, 三上由美子, 飯島佐知子, 横山和仁. 大学における女性の健康相談および健康啓発活動状況について—全国767大学保健センター調査から—第80回日本公衆衛生学会総会, P375, 2021.
- 2) 三上由美子, 西岡笑子, 飯島佐知子, 横山和仁. 女性健康支援センターにおける女性の健康相談および健康啓発活動の状況について 第80回日本公衆衛生学会総会, P464, 2021.
- 3) 飯島佐知子, 西岡笑子, 三上由美子, 大西麻未, 遠藤源樹, 横山和仁. 市町村の女性の健康支援の取り組み状況および健康指標との関連の検討. 第80回日本公衆衛生学会総会, P276, 2021.
- 4) 西岡笑子, 三上由美子. 働く女性のウィメンズヘルスヘルスリテラシー啓発のための教育プログラム開発. 第87回日本健康学会 日本健康学会誌 87, 66-67, 2021.
- 5) 松澤花奈, 西岡笑子. リプロダクティブライ

フプラン研究についての文献レビュー. 日本女性心身医学会学術集会女性心身医学 26(1): P87,2021.

- 6) 杉山法子, 西岡笑子. 産後うつ予防のために父親・パートナーがしているサポートおよび母親が求めているサポートについての文献検討. 日本女性心身医学会学術集会女性心身医学 26(1): P87,2021.

3. 書籍

- 1) たきれい著, 高橋幸子. 医療監修 性の絵本 みんながもってるたからものってなーんだ? KADOKAWA, 2021年5月.
- 2) ジュン・プラ著, 吉田良子訳, 高橋幸子. 医療監修 あなたのセックスによろしく, CCC MEDIA HOUSE, 2021年5月.
- 3) 宮原由紀著, 高橋幸子. 医療監修 子どもと性の話、はじめませんか? CCC MEDIA HOUSE, 2021年7月.
- 4) にじいろ著, 高橋幸子. 医療監修 10代の妊娠合同出版, 2021年12月.
- 5) 高橋幸子著, 小迎裕美子画. マンガでわかる! 28歳からのおとめのカラダ大全, KADOKAWA, 2022年1月.
- 6) 福田裕子著, 高橋幸子. 医療監修, もう、子どもじゃない? はじめての悩み、はじめての恋, 角川つばさ文庫, 2022年1月.

4. その他

- 1) 西岡笑子. 東京新聞 AIが見た「産後クライシス」東京新聞 朝刊 21面(暮らし) 2021年1月30日(土)
- 2) 西岡笑子. 東京新聞 産後ママを支える視点 東京新聞 朝刊 11面(暮らし) 2021年3月16日(火)
- 3) 西岡笑子. NHK「性について語ろう」30秒動画監修①プライベートゾーンって? ②相手の気持ちも大切に③男らしさ、女らしさに縛られてない? ④性のあり方って? 2021年3月28日から1年間放送
- 4) 高橋幸子. 東山書房 健康教室 性教育ノート 2021年3月号~2022年3月号連載
- 5) 高橋幸子. 朝日中高生新聞 サッコ先生と! 性のはなし 2021年9月~2022年3月連載(月1回)
- 6) 高橋幸子. 厚労省 健やか親子 21 スマート保健室 重川茉弥さん対談 若年妊娠について 2022年3月

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

【引用文献】

- 1) UNESCO 編 浅井春夫, 良香織, 田代美江子, 福田和子, 渡辺大輔 訳【改訂版】国際セクシュアリティ教育ガイダンス 科学的根拠に基づいたアプローチ, 明石書店, 2020.
- 2) 文部科学省平成 29・30 年改訂 学習指導要領、解説等 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm (参照日: 2022年4月26日)
- 3) 中学生・高校生のために今こそ必要な女性の健康教育 https://www.pharma.bayer.jp/sites/byl_bayer_co_jp/files/jyoseinokenkokyouiku_rev.pdf (参照日: 2022年4月26日)